

令和5年度（2023年度）

管理事業名	後期高齢者医療事業				総合計画 の体系	大綱 3	福祉・健康
						政策 3	地域での暮らしを支えるまちづくり
						施策 2	生活困窮者への支援と社会保障制度の適正な運営
主な歳出 予算科目	後期高齢者医療 特別会計	(款) 1	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 1	一般管理費
部局名	健康医療部	予算執行 所属	国民健康保険課				
事業の目的と概要 後期高齢者医療制度は、75歳以上の方及び65歳から74歳までの一定の障がいがある方の医療保険で、保険者は大阪府後期高齢者医療広域連合であり、市は保険料の徴収、各種申請や届出の受付などの窓口業務を行う。							

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標の定義
保険料現年分収納率	%	99.57	99.55	99.46	保険料（現年分）の調定額に対する収納額（還付未済額を除く。）の割合

II 活動実績・成果

<p>【指標1】保険料現年分収納率についての評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収納率99.46% ・大阪府後期高齢者医療広域連合が目標としている収納率99%を達成している。 ・令和2年度からキャッシュレス決済及びコンビニ収納を開始し、納付の機会を拡大している。 ・後期高齢者医療特別会計は、事業にかかる費用のうち97.2%を後期高齢者医療広域連合納付金が占めており、職員に係る経費が1.3%、事務に係る物件費が1.3%などとなっている。物件費は、被保険者証及び保険料通知書等の発送経費並びにシステム関係委託料である。納付金支出、保険料収入ともに昨年度より増加している。 	
--	--

III 課題と今後の取組

<p>高齢化の進展により後期高齢者医療保険の被保険者は年々増えており、保険料収入額及びそれに伴う後期高齢者医療広域連合納付金の支出額が共に増加している。特に、令和4年度から令和6年度にかけて団塊の世代が大量に後期高齢者医療に移行するため、医療給付費はさらに増えている。これに対応するため、国において、保険料の賦課限度額上限を引き上げるなど負担の見直しが図られている。</p>	<p>保険料収納率は、現年度分99%以上を達成しているが、引き続き収納率の維持に努める必要がある。</p>
---	---

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目		令和4年度末 A	令和5年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和4年度末 A	令和5年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	162,631	161,670	△961	流動負債	6,361	6,928	566
	未収金	57,283	62,703	5,421	地方債	-	-	-
	財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
	短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	6,361	6,928	566
	徴収不能引当金	△18,924	△10,439	8,485	未払金	-	-	-
	その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
固定資産	有形固定資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
	土地	-	-	-	固定負債	47,906	59,516	11,610
	建物・工作物	-	-	-	地方債	-	-	-
	リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
	建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	47,906	59,516	11,610
	無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
	有形固定資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
	土地	-	-	-	負債の部合計	54,268	66,444	12,177
	建物・工作物	-	-	-	純資産	146,723	147,491	768
	建設仮勘定	-	-	-				
	重要物品	0	0	-				
	図書館資料	-	-	-				
	投資その他の資産	-	-	-	純資産の部合計	146,723	147,491	768
	出資金	-	-	-				
	長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-					
徴収不能引当金	-	-	-					
その他債権	-	-	-					
資産の部合計	200,990	213,935	12,945	負債及び純資産の部合計	200,990	213,935	12,945	

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目		令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差額 B-A
経常収入	地方税	-	-	-	-
	分担金及び負担金	-	-	-	-
	使用料及び手数料	301	347	355	8
	国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
	府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
	財産収入	-	-	-	-
	寄附金	-	-	-	-
	他会計からの繰入金	962,667	1,042,972	1,116,113	73,142
	受取利息及び配当金	-	-	-	-
	その他	4,686,123	5,133,403	5,321,899	188,496
経常収入 小計(a)	5,649,091	6,176,722	6,438,368	261,645	
経常費用	給与関係費	78,012	68,984	80,299	11,315
	物件費	41,554	93,297	81,707	△11,589
	維持補修費	-	-	-	-
	社会保障扶助費	-	-	-	-
	負担金・補助金・交付金等	5,502,109	5,964,512	6,256,779	292,267
	特別会計への繰出金	-	-	-	-
	減価償却費	-	-	-	-
	徴収不能引当金繰入額	9,514	18,012	164	△17,849
	賞与引当金繰入額	5,003	6,361	6,928	566
	退職手当引当金繰入額	-	-	11,610	11,610
支払利息	-	-	-	-	
その他	193	330	113	△218	
経常費用 小計(b)	5,636,384	6,151,497	6,437,600	286,103	
経常収支差額(a)-(b)=(c)	12,707	25,225	768	△24,457	
特別収入	固定資産売却益	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-	
特別費用	固定資産除売却損	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-	
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-	
一般財源調整額(g)	-	-	-	-	
当期収支差額(c)+(f)+(g)	12,707	25,225	768	△24,457	
一般財源充当額	-	-	-	-	
一般会計からの繰入金	-	-	-	-	
一般会計への繰出金	-	-	-	-	
再計	12,707	25,225	768	△24,457	

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	5,633,295	6,154,403	6,424,186	269,783
行政サービス活動支出	5,627,740	6,131,796	6,425,147	293,351
行政サービス活動収支差額	5,555	22,606	△961	△23,567
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	5,555	22,606	△961	△23,567
一般財源充当額	-	-	-	-
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	134,470	140,025	162,631	22,606

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【BS】 現金預金	決算剰余金 961千円の減
【PL】 経常収入/ その他	後期高齢者医療保険料 5,291,879千円
【PL】 負担金・補助金・交付金等	後期高齢者医療広域連合納付金 6,248,781千円

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
被保険者1人	コスト 124,443円	129,713円	128,485円
	実績 45,293人	47,424人	50,104人
	コスト	円	円
	実績	円	円

分析内容
被保険者1人当たり128,485円のコストがかかっている。
後期高齢者医療広域連合納付金が支出増となったものの、被保険者数が大きく増加していることから、被保険者1人当たりのコストは減少している。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	95,336	4,352	10.58
会計年度任用等	3,502	-	-
特別職非常勤	-	-	-
合計	98,837	-	-

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		-	-	-	-
施設維持補修費比率		-	-	-	-
経常費用対公共資産比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		14.3	33.0	16.6	△ 16.4
受益者負担比率		82.7	82.6	82.4	△ 0.2
一般財源充当比率		-	-	-	-